

中日ニューズ

シネスコ版

No. 572

40.1.1.

一、初春

初日の出。一九六五年は静かに明けました。

年頭にあって、佐藤総理大臣は、「一九六五年は国民一丸となって内外の諸問題に対処する」とその決意を述べました。

まだご新婚の常陸宮ご夫妻を迎えた皇室では、もうすっかり成長された浩宮さまを囲んで初春を寿いで居られました。

白鳥の里

お題によせて

新潟県水原町のはずれにある瓢湖は白鳥の湖として知られています。木格的な冬の寒気が湖面にみなぎる頃、遠くシベリアから白鳥がやってくるのです。

そしてまったく殺風景な小さな湖が急に様子を变え野鳥の天国となります。この湖に白鳥が白い優美な姿を現わしたのは十五年前のこと、以来その美しさに魅せられ、吉川さんは親子二代にわたって白鳥のお守りをしてきました。

警戒心の強い野性の白鳥のエサヅケに成功したのは世界でもはじめて、まったく珍しいこととして有名になりました。それは超人的な努力のあったといわれます。

まったく白鳥になりきってせわをする吉川さんに町の人達も協力をおします、白鳥の好物、茶ガラを持ち寄る人が毎日吉川さん宅を尋ねています。

町でも特別に予算をたて保護にあたっているのです。

勅題によせて「鳥」の話題でした。

602F

349F

253F

制作・配給

中日新聞
北陸中日新聞

東京中日新聞
中日映画社